

江東区議会議員

鈴木あやこ

江東区議会 民政クラブ 会派レポート

2021年は依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける一年でしたが、テレワークやオンライン会議などの働き方改革、ICT教育や電子決済など、デジタル化が進み、新しいライフスタイルが定着した1年でもありました。

また、東京2020大会の無観客開催など、感染拡大に留意した上でのイベント・経済活動再開も行われております。

江東区議会では、新型コロナウイルス感染症対策、区民や区内事業者の皆様の生活支援・経済振興などに江東区と連携して取り組んでまいりました。

本年も引き続き、区民や事業者の皆様が安心・安全に暮らせるまちづくりを推進してまいります。

区議会レポート新年号では、1年間の議会活動・政策、議会質問のご報告をさせていただきます。

ぜひ、最後までご覧いただき、ご意見を頂戴できると幸いです。



江東区猿江・潮見を経て豊洲在住。早稲田大学大学院修了。
NTTドコモ勤務を経て、2011年初当選、現在3期目。
日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」4回受賞。
江東区議会 厚生委員長。高齢者支援・介護制度特別委員会委員。

鈴木あやこ
ホームページ



鈴木あやこ
YouTube
チャンネル



2022年 冬号
VOL.90

東京オリンピック・パラリンピック大会後のレガシーを生かしたまちづくりを行います。



安心安全な大会運営やオリンピックレガシーの推進などについて区議会で質問

東京オリンピック・パラリンピックは、コロナ禍により開催が1年延期し、無観客ながらも無事開催され、多くの日本人選手が活躍しました。江東区では大会の中心地として10会場、20競技が開催。鈴木あやこは大会ボランティアとしてトライアスロン競技のボランティアも経験しました。大会の開催に関しては、これまで江東区議会として、行政と連携して、招致活動、安心安全な大会の成功などに向けた取組を行ってまいりました。今後は、オリンピックレガシーの継承が課題です。

大会会場の後利用としては、新たに整備された有明アリーナやアクアティクスセンターなどの活用の他、辰巳国際水泳場がアイススケートリンクに改装されることも決定。スケートボードでは、江東区出身の堀米雄斗選手が金メダルを獲得したことを契機に、夢の島に誰もが安心して楽しめる区立のスケートボードパークを整備し、同時にスケボー利用者のマナー啓発にも取り組むことになりました。

今後は、江東湾岸エリアのまちづくり、ボランティアの推進、スポーツに親しめる環境整備などを積極的にすすめてまいります。



有明アリーナなどの区内の大会会場の視察や式典等に参加



若洲海浜公園のトライアスロン練習会場にて大会ボランティア



ライトアップされた聖火台



シンボルプロムナード公園のモニュメント

みなさまとの対話を江東区のまちづくりに反映しています。

1 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafe」



江東区のまちづくりや議会に関する情報について皆様とざっくばらんに対話する、気軽に区政報告座談会「あやこcafe」を2011年から毎月欠かさず(合計128回)開催しています。現在はコロナ対策のため、オンラインで開催しています。

最新の開催情報は、
鈴木あやこホームページ・SNSでお知らせします。

QRコードから開催情報を御覧いただき、
ぜひご参加いただけると幸いです。

あやこcafeのページ



2 安心安全な情報発信のための「SNSガイドライン」がマニフェスト大賞を受賞しました！

SNSへの誹謗中傷が社会問題となり、安心安全な情報発信のあり方が社会全体として求められている中、鈴木あやこは2018年に地方議員ではじめてとなる「SNSガイドライン」を策定し、各種SNSの運用を行っています。この取組は、政治家が有権者の皆様と円滑なSNSコミュニケーションを安心して行うための助けとなるもので、党派を超えた地方議員にも展開し、活用頂いています。

「SNSガイドライン」の取組は、日本最大の政策コンテストである「マニフェスト大賞」の優秀コミュニケーション戦略賞に2730件の応募の中から、受賞いたしました。引き続きSNSを活用し、皆様の声を形にしてまいります。



鈴木あやこの
SNSガイドライン

鈴木あやこの議会活動

～ 2021年は新型コロナウイルス対策・地域福祉の向上に取り組みました～

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、江東区議会では2021年も前年に引き続き、7回に渡る補正予算を審査するなど、コロナ対策に注力。鈴木あやこは、所属会派「民政クラブ」の一員として区長への政策要望・予算要望を繰り返し行い、区議会一般質問や予算審査などでも多くの質問・提案を行いました。また、厚生委員長として、コロナ対策を含む、健康福祉・子育て分野の政策に重点的に取り組んでいます。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大を見据えた対策、3回目のワクチン接種、コロナの影響を受けた区民、医療従事者、区内事業者の方々のご支援などに取り組んでまいります。



民政クラブ所属議員



山崎孝明区長に民政クラブから要望書を提出

鈴木あやこの議会質問（令和3年第4回定例会・一部抜粋）

江東湾岸エリアのまちづくりについて

[1] 豊洲4丁目のまちづくりについて

【質問】

豊洲の中での唯一の既成市街地である豊洲4丁目のまちづくりについて、都営豊洲4丁目アパートを高層化し、集約されることにより、豊洲駅前に創出される用地の活用を含め、区としてはどのように認識し、すすめていくのか。

【答弁】

豊洲駅を含む豊洲4丁目では、地下鉄8号線の延伸による駅の交通結節機能の強化や、創出用地を有効に活用した、訪れた人が滞留し、交流でき、防災にも資する空間など、新たな都市機能の創出が必要であると認識している。

そのため、地下鉄8号線延伸や、地元の検討会の動向等を踏まえ、まちづくりの方向性等を示した、街づくり方針の策定について検討するとともに、創出用地の活用については、地域要望等を踏まえ、東京都との協議を進めるなど、豊洲4丁目における、持続的に発展するまちづくりを推進する。



完成間近の都営豊洲4丁目アパート

[2] 辰巳団地建替えと辰巳駅周辺のまちづくりについて

辰巳駅前は、湾岸エリアのまちづくりにより、劇的に周辺地域の開発が進む中で、取り残されている印象である。

昭和40年代に建設され、築50年超となっている総戸数3,326戸の辰巳団地を建替え、高層化した際に創出された用地の活用による駅前の商業化や公共施設の再編などによる利便性向上などが地域住民から強く望まれている。

辰巳団地の建替えについては平成25年(2013年)に開始し、当初の工期は14年間と計画されていたが、

全4期の工期中2期の終了が令和4年度となるなど、現状で既に3年ほど遅れしており、建替え終了までのスケジュールはまだ見通せていない状況である。

都は現在、事業全体の工程の見直しを、工区範囲等も含め行っているところです。

辰巳団地
(建替え前の様)辰巳団地
(建替えした様)

【質問】①創出用地の活用に関する検討状況・都との協議状況について

辰巳団地の建替えに伴う高層化と集約化による創出用地については、駅前の複合市街地ゾーン、公共公益ゾーンなどとして活用される予定となっているが、現状はどのようにになっているのか。また、特別養護老人ホームを含む高齢者施設、駅周辺では商業施設を望む声が高いが、どのように検討されているか。都との協議状況も含めて伺う。

【答弁】

創出用地の活用に係る検討及び協議状況については、事業の遅れから、団地内部の複合市街地ゾーンなどの検討には至っていないが、現在工事が進められている住宅ゾーン内の創出用地については、区は高齢者施設整備地としての活用を希望している。今後は、事業スケジュールを踏まえ、協議・調整を進めていく。



アクアティクスセンター外観

【質問】②「団地の建替え」「オリパラレガシーの活用」から見た新たな辰巳駅周辺のまちづくりについて

東京2020大会終了後、辰巳地域はアクアティクスセンターの活用や辰巳国際水泳場のアイスアリーナとしての後利用（令和7年度開業）など、スポーツレクリエーション施設としての活用も進む。スポーツ施設利用者の利便性向上のためにも、駅前の賑わい創出は急務である。

「団地の建替え」「オリパラレガシーの活用」という2つの観点から見た新たな辰巳駅周辺のまちづくりについて、区としてどのように位置づけ、進めていくのか。



鈴木あやこの議会質問（全文・参考資料・解説入り）は、右記のQRコードから閲覧することができます。ぜひご覧ください。

【答弁】

都市計画マスタープランにおいて駅周辺は、多様な世代が賑わう活気のある都市として位置づけを検討しており、団地建て替えの機を捉え、駅周辺を中心に、交流機能を有する利便施設などの都市機能を誘導するとともに、辰巳の森海浜公園などのオリンピック、パラリンピックのレガシーを活用し、回遊性のある、連続した歩行空間等の創出について検討していく。

新型コロナウイルス感染症に関するお問い合わせ一覧

江東区 新型コロナウイルス
関連情報内閣府 新型コロナウイルス
感染症ポータルサイト東京都 新型コロナウイルス
感染症対策サイト

【発熱等の症状がある方の相談窓口】

- かかりつけ医がいる場合 ……まずは、かかりつけ医に電話相談を
- かかりつけ医がない場合 ……東京都発熱相談センター ▶ 03-5320-4592

【新型コロナウイルスに関する健康不安等の相談窓口】

- 江東区新型コロナウイルス感染症相談センター ▶ 03-3647-5879
- 新型コロナウイルス電話相談窓口（東京都） ▶ 0570-550571

